

“大学ネットワークふくおか 「学生地域活動大賞」”で 福工大の2チームが優秀賞を受賞！

地域の将来を担う人材の育成と学生の研究や活動を地域社会の活性化へ活かすことを目的に、ボランティアなど地域・社会の中で積極的に活動している学生グループが活動内容を発表する「学生地域活動大賞」が、10月31日（土）福岡市役所1階の市民ロビーで開催されました。当日は一次審査を通過した福岡工業大学、九州産業大学、福岡女子大学から5グループが登場し、5分間のプレゼンテーションと10分間の質疑応答によって最優秀賞を競いました。



ふくおか IT Workouts 福工大チーム
高橋和生さん(左)、佐藤夏姫さん

本学からは、アプリケーションなどのIT技術を活用して、買い物弱者の支援や商店街の活性化、観光促進といった地域課題の解決に取り組んでいる「ふくおか IT Workouts 福工大チーム」（情報工学部の若原研究室・山口研究室による合同チーム）と、新宮町の防災ワークショップに



福工大地域防災研究チーム
時枝真志さん

参加して住民の皆さんと一緒にまち歩きを行い、土砂崩れの可能性のある危険区域を特定し3D防災地図製作を行った「福岡工業大学 地域防災研究チーム」（社会環境学部森山研究室）がエントリー。両チームともに、これまでの活動成果と課題等に関する概要説明に加え、地域の皆さんや行政職員の方と触れ合う中で大学の授業では学べない貴重な経験ができたことや、活動を進める上でのチームワークの大切さについて、審査員や一般市民、大学関係者など会場に集った50名近いギャラリーに熱い思いをプレゼンしてくれました。

結果は、惜しくも最優秀賞は逃したものの、2チームとも見事「優秀賞」を受賞。主催の「大学ネットワークふくおか」からも、「学生一人ではかなわないことも、チームとなって地域の人達と共に課題に取り組むことにより、福岡市や周辺自治体の活性化に多大な貢献を果たすことができる。大学生の若い力でこれからも福岡を大いに盛り上げてほしい。」との評価をいただいています。両チームの皆さん、そして活動を指導していただいた若原先生、山口先生、森山先生、本当におめでとうございます。大学・地域連携推進室では、今後も地域と大学を繋ぐ窓口として、大学での学びをベースとした学生の皆さんの地域貢献活動を全力でサポートしてまいります。



参加者全員で記念撮影